

故山田泰彦教授 主要経歴・主要業績

主要経歴

- 一九五二年九月二〇日 北海道生まれ（旧姓・能勢）
- 一九七七年 三月 早稲田大学法学部卒業
- 一九七八年一〇月 司法試験合格
- 一九七九年 三月 早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了
- 一九八三年 三月 早稲田大学大学院法学研究科博士課程修了
- 一九八三年 四月 駒澤大学法学部講師
- 一九八七年 四月 駒澤大学法学部助教授
- 一九九三年 四月 駒澤大学法学部教授
- 一九九五年 四月 駒澤大学法学部二部法律学科主任（一九九七年三月まで）
- 一九九七年 四月 駒澤大学法学部法律学科（昼間主コース）主任（二〇〇一年三月まで）
- 一九九八年 四月 駒澤大学大学院法学研究科私法学専攻修士課程担当
- 二〇〇一年 四月 駒澤大学法学部部長・評議員（二〇〇三年三月まで）

故山田泰彦教授 主要経歴・主要業績

二〇〇二年 七月 駒澤大学法科大学院設置準備室長（二〇〇四年三月まで）

二〇〇六年二月一日 逝去

主要業績

〈単 著〉

『船主責任制限の法理』 成文堂 一九九二年

〈共編著〉

『現代法講義・保険法海商法』 青林書院 一九九二年

『最新海事判例評釈II巻』 成文堂 一九九二年

『商法演習Ⅰ（会社法）』 成文堂 一九九二年

『現代法学双書保険法・海商法』 青林書院 一九九三年

『商法演習Ⅱ（手形法・小切手法）』 成文堂 一九九三年

『現代保険・海商法30講』 中央経済社 一九九四年

『注解 国際海上物品運送法』 青林書院 一九九七年

『新判例マニユアル 商法Ⅰ』 三省堂 一九九九年

〈論 文〉

「株式の分割とその有価証券化」『商事法務』第一〇一九号

「第三者に対する取締役責任の再検討」『早稲田法学会雑誌』第三三号

「船主責任制限法における責任制限阻却事由」『現代保険法・海商法の諸相』成文堂 一九九〇年

- 「フランス民事責任法理における許しがたいフォートの位相と『無謀かつ認識』要件(一)(二)(三)」「損害保険研究」第五一卷三・四号、第五二巻第一号
- 「フランス海事法における船長」『海事法研究会誌』第九七号
- 「船主責任制限法における責任制限阻却事由の法的構成について」『海事法研究会誌』第一〇〇号
- 「難破物除去責任と船主の責任制限(一)(二)」『法学論集』第二八号・第三四号
- 「フランス法における船主責任制限法理の生成と展開」『法学論集』第四三号
- 「フランス法における船長概念の生成と変容」『損害保険研究』第五二巻第四号
- 「第三者に対する事実上の取締役の責任」『公開会社の法理と閉鎖会社の処理』商事法務研究会 一九九二年
- 「株式の共同相続と相続株主の権利」『早稲田法学』第六九巻第三号
- 「二重無権の抗弁」『商法の判例と論理』日本評論社 一九九四年
- 「フランスの代理商契約」『法学論集』第五〇号
- 「商法・海商法における運送人の契約責任と不法行為責任」『法学論集』第五一号
- 「船主責任制限法の適用範囲」『近代企業法の形成と展開』成文堂 一九九九年
- 「満期日より後の日を振出日とする確定日払手形の効力」『法学論集』第六〇号
- 「株主の共同相続による商法二〇三条二項の権利行使書の指定方法と『特段事情』」『早稲田法学』第七五巻第三号
- 〈その他〉
- 「損失補填」『証券取引と民事責任』『法学セミナー』第四五八号 一九九三年
- 「海難救助条約における救助」『商法判例百選』有斐閣 一九九三年
- 「定期傭船者の責任」『平成四年度重要判例解説』有斐閣 一九九三年
- 「平成五年の改正商法」『商法の基礎知識』自由国民社 一九九三年